Special
音声／データ統合による次世代コミュニケーション環境

ヤマハ

企業向け内線VoIPネットワークの電話番号を一括管理する電話帳サーバー「RTV01」

内線VoIPの導入をいっそう簡単に

ブロードバンド回線の普及により、ネットワークを従来の専用線からインターネットVPNや信頼性を重視したIP-VPNや広域イーサネットなどの閉域網サービスの利用へと移行する企業が増えている。さらに企業の内線電話も、音声専用線から広帯域を有効に活用した企業ネットワークでの内線VoIPの利用が進んでいる。しかし内線VoIPの利用が拡大するにつれて、内線電話番号の運用管理負担の軽減が求められるようになってきた。

この課題に対して、各拠点の電話番号を集中管理することで、内線電話番号の運用管理負担を軽減して、内線VoIPソリューションの導入を促進する製品として登場したのが、ヤマハ㈱（以下、ヤマハ）の電話帳サーバー「RTV01（アール・ティー・ブイ・ゼロ・ワン）」である。

1箇所の“電話帳”で一括管理

RTV01は、ヤマハのブロードバンドVoIPゲートウェイ「RTV700」や、ブロードバンドVoIPルーター「RT57i」で構築された内線VoIPネットワークの電話番号を一括管理して、運用管理負担を軽減する機能を搭載した専用の電話帳サーバーである。これまでの内線VoIPネットワークでは、拠点ごとに電話帳を管理する必要があった。しかし、RTV01の電話帳機能を利用することで、1箇所の電話帳を管理するだけで済み、拠点の増減などで煩雑になりがちな内線電話番号の新設や変更も1箇所で集中管理できるようになる。また、ヤマハルーターによる内線VoIPソリューションを強化する、事業所番号対応や冗長機能、サーバ連携機能、ハントグループ機能も充実。PBXやビジネスホンなどの既存の電話設備を利用した内線VoIPソリューションの導入を促進するとともに、内線VoIPネットワークを安価で簡単に構築できるようになる。

その他、WebブラウザをGUI画面の設定が可能。電話帳の設定はGUI画面からだけでなく、CSVファイルによる入出力にも対応するなど、管理者の負担を軽減する設定・管理機能も充実している。

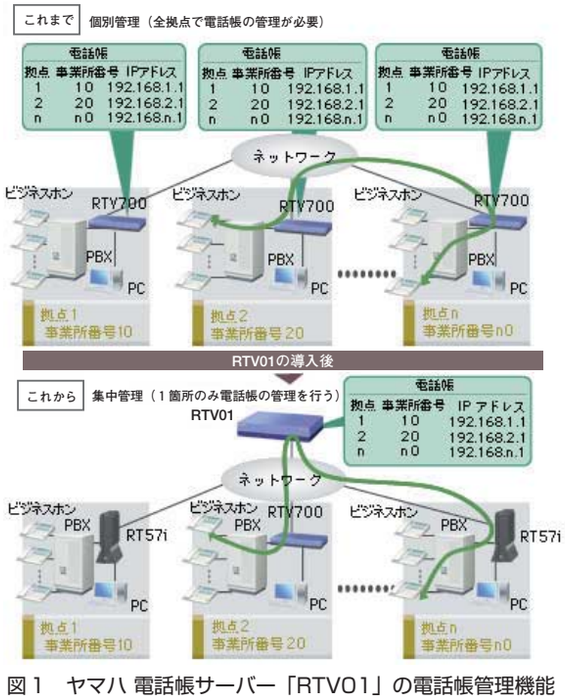

図1　ヤマハ 電話帳サーバー「RTV01」の電話帳管理機能

ヤマハ 電話帳サーバー「RTV01」

お問い合せ先
ヤマハ株式会社
ネットボランチコールセンター
TEL：03-5715-0350
URL：http://www.yamaha.co.jp/router/